



萩市須佐地域

公民館だより

須佐地域生涯学習推進
マスコット「まな坊」

※題字は昭和48年発刊第1号時のもの

令和6年

12月

第617号

集おう！学ぼう！
手をつなごう！

発行/須佐公民館 〒759-3411 萩市大字須佐4570-1 TEL08387-6-2310 FAX08387-6-2030
弥富公民館 〒759-3302 萩市大字弥富下4043 TEL08387-8-2044 FAX08387-8-2212
特定非営利活動法人 須佐元気なまちづくりネット

秋の大運動会 盛り上がる！

令和6年度 須佐地区体育大会開催



200歳リレー



選手宣誓(前年度優勝地区から)



玉入れ



火事だ…！それ行け消火器隊

今月の話題

- 久々の運動会形式で体育大会！・・・・・・2P
 - 最後の幕末体験育英塾・・・・・・3P
 - 須佐美術展開催
地域の子どもの各受賞作品決まる・・・4・5P
 - ぶらぶらタムラ：(続)犬伏城・・・・・・8P
- ※子育て日記はお休みしました



本日の運試しジャンケン大会

3ブロック(入江・山根丁西・まてがた)

玉入れが高得点で圧勝勝利!



令和6年度須佐地区体育大会

心地よい秋晴れの天候の中、隔年で行われている「須佐地区体育大会」が10月20日(日)、育英小学校のグラウンドで開催されました。

今年は、コロナウィルス感染症対策も緩和され、久しぶりに運動会形式で競技が行われました。

またチームは、混合チームで①ブロック(松原・青葉台・中畑・上三原・堀田・帆柱)、②ブロック(本町・河原丁・山根丁東・横屋丁・中津・押谷)、③ブロック(山根丁西・浦西・浦中・浦東・入江・まてがた)、④ブロック(水海・下三原・野頭・前地・高山)の4ブロックに分け、それぞれ優勝目指して競技に挑みました。

競技前には、準備運動として全員



ラジオ体操で気分爽快!

でラジオ体操を行いました。

いよいよ競技開始!

最初の種目は、定番の「ボール運びリレー」です。一枚の板の上にボールを乗せ、2人でバランスをとりながら運びます。片手で板を持ち、ボ



慎重にボールを運ぶ参加者

ルが落ちないように少し板を斜めに傾けるなど、それぞれ工夫しながら運んでいました。

次は「ナイスキャッチ」。男女2人で行い、男性が後ろ向きで投げるボールを女性がバケツでキャッチす

る競技です。投げる男性は、上手にキャッチできるように投げる人、おもしろさを追求してか、高く投げる人など様々。ボールがどこへ、どのくらいの高さに上がるのか、受ける女性は必死。「もう少し!」と周りも声を出して応援していました。今年、新しく種目に加わったのが、避難訓練・火災訓練を模した「もしもの時に:簡易担架搬送レース」と「火事だ:!!それ行け消火器隊」の2種目です。これは最近、全国で災害が多く発生していることに際し、何か避難訓練の要素を体育大会で取り入れたらどうかという声があり、新しく作りました。

最初の担架搬送レースは、毛布一枚の上に傷病者役一人を乗せ、両端をクルクル巻いて4人で運ぶレースです。両端の巻き方で、傷病者を軽く持ち上げることができます。



4人のチームワークで人命を救助...

また、消火器隊の方は、最初に「火事だ!!」と大きな声を出すこと、そして消火器の使い方や消化の仕方を覚えることが、この競技の目的となります。

その他、一升ビンに色水を入れていく「水入れリレー」、高齢者用に低いかごを付けた「玉入れ」、ブロック対抗による「200歳リレー」などの競技がありました。

中でも、「玉入れ」では、③ブロックの山根丁西・まてがた・入江は、浦三区が不参加で、少し人数が足りない状況でしたが、他のブロックを大きく上回る80点(他ブロックは50点台)を獲得!それが幸運を呼び、最終的に優勝の栄冠を獲得しました。各ブロックとも、人集めに苦労されたようで、何度も競技に出られる人もおられたようです。

再来年度は是非、たくさんの方に参加して頂きますようお願いいたします。

なお、大会結果は次のとおりです。



【大会結果】

●リレーの部

優勝	4ブロック
準優勝	2ブロック
3位	3ブロック

●総合

優勝	3ブロック
準優勝	4ブロック
3位	2ブロック

32年間の歴史に幕… 幕末体験育英塾

10月25日(木)「益田館」(萩藩永代家老旧宅)で、育英小学校の5年生6名と、6年生6名で、幕末の頃の授業と剣術を学びました。

この育英塾は、幕末時代の育英館の授業を体験し、ふるさと須佐の歴史や文化を次の世代へつなげていくための手段として、毎年開催されています。



最後の剣術を学んだ塾生たち

育英塾が始まったのは、平成5年(1993)から。当時、育英小学校の山本哲司校長から「開校120年記念として何か子ども達が記憶に残る事をさせてやることはないだろうか」

と須佐公民館へ相談を持たれ、それじゃあ郷校育英館にまつわる事をさせてみようと思ったのが、幕末の頃の授業を再現する「幕末体験育英塾」です。当時、道着など何もないので、元中学校剣道部から道着を寄贈して頂き、わら草履は、老人クラブなど地域の方に作ってもらったそうです。

最初の塾長は、当時教育長だった田村雅利さん(青葉台)でした。2年目からは、歴史に詳しい西村武正さん(山根丁東)に、今日まで塾長を努めて頂きました。

いろんなエピソードがありました

育英塾が32年間続いてきた中で、いろんな事がありました。

●平成25年7月には、豪雨災害にあり、須佐歴史民俗資料館は水が天井近くまでも浸かるという甚大な被害をこうむりました。

そのため、育英塾をしてきた「益田館」も、水が



大瀬寺で育英塾を行う子ども達

引いた後は泥の山となり資料なども浸かり壊滅状態!その年の育英塾は、山根丁東にある「大瀬寺」の本堂を2年間お借りして行いました。

その後、各地から来られたボランティアの方が片付けを手伝って下さったおかげで、また益田館で育英塾ができるようになりました。

●25年目となる平成30年には、萩藩校明倫館創設300年記念として、「全国藩校サミット萩大会」が萩市民館大ホールで開催され、当時の育英小児童5、6年生10名がステージ上で幕末体験育英塾を発表し、全国に発信しました。



大勢の前で漢詩の朗読をする子ども達

●数年前の剣術では、居合道の披露もありました。その頃、スポーツ少年団では剣道部もあり、その中で、高学年は模擬刀を使った居合(技法)を北谷の豊田盛さんから学んでいました。

それを育英塾の時に披露し、豊田さんも本物の刀で巻き簾を切る技を披露していました。病気で亡くなられ居合道の披露はなくなりました。また、32年間という年月の中で、親子で育英塾を体験された方も多数おられ歴史を感じます。

いつも元気な口調で育英塾を盛り上げてこられた西村さんも、今年で97歳になられ「もう歳にはかなわな」と、当日も娘さんが付いてこられており、今年で最後にしたいとの申し出がありました。



最後の講義も元気な西村さん

年々、子どもの人数もどんどん減っていく中、残念ではありますが、幕末体験育英塾は今年で幕を下ろすこととなりました。育英塾を体験した、須佐地域のたくさんの子どもの達には、社会人になって辛いことがあってもこの体験をふっと思い出し、前へ進んでいってほしいと思います。長い間、育英塾を支えて頂いた西村武正さん、他の指導者の皆さん、また、関係する多くの皆さん、本当にこれまでありがとうございました。

芸術作品で須佐地域に元気を!

169点の作品が並ぶ

第40回 須佐美術展開催



芸術の秋、須佐地域の一大イベント「須佐美術展」が、11月1日（金）から5日（火）までの5日間、須佐公民館で開催されました。

今年は、須佐地域の作品21点と、萩市美術展の巡回作品が9点、地域内の子ども達による「ふるさと愛護スケッチ展」が106点、そして「人権教育啓発作品」が34点の合計169点もの作品が展示されました。今年、まつりのない年でしたが、それでも5日間で、約180名の方が、作品を見にいられていました。

子どもの作品を見ようと、家族で見にいられる方、友だちの作品を見たいという方、また、団体活動などで須佐公民館へ来られた方など理由は人それぞれ。来館者は「まあ、すごいね、よう描いてじゃねえ」、また子ども達の作品を見て、「かわいーい絵じゃね」「みんな上手じゃねえ」など言われながら、楽しんで鑑賞されておられました。

まだまだ、須佐地域内には、個人でいろんな作品を作成しておられる方がいらつしやるのではないかと思います。

来年は是非、たくさんの方が出品されることを期待しています。



須佐地域の方が描かれた作品をじっくりと見る来館者



萩市美術展で「佳作」に…伊藤正久(中畑)

ふるさと愛護スケッチ展 審査結果発表

毎年、須佐地域の子ども達の作品の中から、優秀な作品に賞が贈られています。

今年は、10月30日（水）に須佐美術展実行委員会による審査が行われ、次のような結果となりましたので報告します。

【保育園の部】

金賞 須佐保年中 桐田流鳳
銀賞 須佐保年少 岡本瑠亜
銅賞 須佐保年長 岩本 樹

【小学校の部】

金賞 育英小1年 原田真羽
金賞 育英小3年 石戸結葵
金賞 育英小5年 角谷 真
銀賞 育英小1年 彦田哉志
銀賞 育英小4年 篠原千帆
銀賞 育英小6年 上田 聖
銅賞 育英小2年 中山琉愛
銅賞 育英小3年 中山龍勇
銅賞 育英小6年 宍戸友香

【中学生の部】

金賞 須佐中1年 角野一樺
銀賞 須佐中2年 中本ほなみ
銀賞 須佐中2年 伊藤 魁
(クロッキー)

銅賞 須佐中2年 中本ほなみ
(抽象画)
銅賞 須佐中3年 伊藤夏空



金賞 須佐保年中 桐田流鳳



金賞 育英小3年 石戸結葵



金賞 須佐中1年 角野一樺

《スケッチ展の続き》



銀賞 須佐保年少 岡本瑠亜



金賞 育英小3年 石戸結葵



銀賞 須佐中2年 中本ほなみ

人権教育啓発作品
審査結果

令和6年度の選考会が10月9日に行われ、応募された作品の中から次のとおり優秀作品が選ばれました。

【ポスターの部】

小学校低学年の部（応募数1）
『思いやりの気持ち大切に』



育英小3年 野村岬希

中学生の部（応募数7）
『私らしく生きる自由な世界』



須佐中3年 石田 葵

【標語・短歌の部】

小学校高学年の部（応募数2）
『いじめなし』



みんなでつくろう 明るい社会』

育英小6年 宋戸友香

中学生の部（応募数27）
『多様性』

個性集まる この世界』

須佐中2年 山本ひかる

【習字の部】

小学生低学年の部（応募数10）



育英小3年 石戸結葵

小学校高学年の部（応募数9）



育英小6年 藤山清花

令和6年度
あいさつ標語決定

須佐地域ふるさとづくり協議会のひとづくり部会が毎年応募している「あいさつ標語」の最優秀作品が、10月28日の審査で最優秀作品が決定しましたので報告します。

《小学生の部》（54作品応募）

『ありがとう』

まほうの言葉

いいえがお』

育英小3年 彦田珠令

《中学生の部》（37作品応募）

『あいさつで』

地域も町も 皆笑顔』

須佐中1年 大野来未

《一般の部》（2作品応募）

『「おはよう！」で』

背伸びをしよう

笑顔の朝』

山岡良子（下二原上）



生き活き教室



抜き打ち避難訓練実施！

つどい会

11月6日（水）、いつものようにみなさんでお昼ご飯を作りました。山芋の味噌汁は、つるつるつと喉を通るのでとても食べやすく、切り干し大根の梅和えは、梅干しのさっぱりとした味付けでした。また、味噌汁の出汁に使った昆布と鰹節を使い昆布の佃煮も作り、今月も豪華ランチとなりました。



お腹いっぱいになりました

午後からは、久しぶりのボッチャを楽しみました。熱い試合が繰り広げられていると、「訓練！訓練！2階トイレ付近で火災発生！」と突然



ボッチャに夢中になっている頃

館内放送がかかりました。最初の放送が鳴った際には「何？火事？本当に？」と、皆さん一瞬緊張が走ったようですが、訓練と分かるとそのまま避難せずに試合を再開しようとするので、「一緒に避難してください！」と声を掛け、避難が始まりました。

三階大ホールの舞台裏から避難することになり、普段使うことのない舞台裏の階段を降りる際、「ここ手すりがないので注意してください」「避難時だから仕方ないね」と話ながら二階の調理室横に降りると、「こんな階段があることを知らなかった」など話されながら、無事一階渡り廊下まで避難しました。

「いざというときの避難経路を皆さんに知っておいてもらいたいので、今回抜き打ちで行いました。」

皆さん、今後のために是非覚えておいてください」と最後に公民館長から話があり、皆さん真剣に話を受け止めておられました。

須佐公民館では、いざという時のことを考え、こういった避難訓練を今後も実施したいと考えています。ご協力をよろしくお願いします。



1階渡り廊下に避難した参加者

公民館学級

防府市を探訪！

弥富さつき学級



11月8日（金）、14名の参加者とともに、防府市の毛利博物館と防府天満宮へ視察研修に行きました。

天気も良く、絶好のお出かけ日和となり、皆さんも「天気が良くてよかったね」「日頃の行いがええからじゃね」と嬉しそうな様子でした。

まず、「毛利博物館」へ行きました。表門から本邸に通じる路の右側には柳川溪流が流れて、その側にはカエデの林があり、左側には自然林を背景に数本のつつじが植えられていました。「まあ、きれいじゃねえ」と、皆さん周りの景色を楽しみなが



毛利博物館の庭

ら歩かれました。

毛利博物館は本邸の一郭にあり、

館長さんに

内容説明を

していただきながら、

はじめに本邸を見学しました。

邸内唯一の洋風の部屋の応接室で、旧長州藩主毛利氏についてお話を聞いた後、邸内を回りました。廊下の床板は、ケヤキの一枚板でできているなど、一つ一つ丁寧に話をされ、皆さん「すごいね」と感動しながら見ていました。



毛利氏の話聞く参加者

邸内を見学した後、毛利博物館内を廻り、展示物をじっくりと見学しました。残念ながら庭園散策はできませんでしたが、「また紅葉した頃に来たいね」との声も聞かれました。昼食後、防府天満宮を参拝し、近くにあるまちの駅のうめてらすで、買い物など、皆さん自由に過ごされました。予定より、少し早めに帰ってきましたが、とても楽しい一日となりました。



地域の原動力

公民館

倉庫日記

42



旧須佐町中央公民館

演奏会場が広まる・・・

須佐会場で毎年6月末に開催していましたが須佐ふれあいコンサートも3年目を迎え、MASAKIも、昨年は日本でのメジャーデビューを迎え、須佐での思いを「桃色の潮風」として、サードアルバムに挿入しました。コンサートの話は、たちまち巷に広まり、佐々並公民館から問い合わせがありました。

佐々並公民館とは、昔から公民館同士の付き合いがあり、是非とも佐々並で生の演奏を聞かせてくれないかとの要望、早速演奏者にこの旨を伝え、快く開催が決定しました。平成21年7月9日佐々並で初めてのコンサートが、佐々並中学校体育館で開催されることとなりました。

当日は、まだ梅雨の末期で、天候は雨模様。リハーサルで体育館の中をアマガエルが飛び回ることには、都

会暮らしのMASAKIも子どもに帰ったようにはしゃいでいた姿を覚えています。



佐々並ふれあいコンサートの様子

足元の悪い中、多くの住民の皆さんが会場に集結。午後7時、待ちに待ったコンサートが開演し、ヴァイオリン、ピアノ、チェロの音が体育館に響き渡りました。初めて聴くそれぞれの楽器の音色に、皆さん満足の様子。佐々並ふれあいコンサート

は大盛会の内に終えることができました。

萩・むつみ地域でも開催

MASAKIの人気は高まりをみせ、平成24年には、県立萩美術館で「アートなひととき」と題した、定員60名の小コンサートを開催しました。この部屋は、元々視聴覚室的なもので、職員の皆さんの配慮で、ロビーコンサートをこの部屋で開催したものです。従って、狭い部屋の中、電子ピアノとの合奏となりました。演奏の合間等は、ケーブルテレビなどの取材も入り演奏者もスタッフも天手古舞の状態でした。

また、夕方からはむつみ会場の初めてのコンサートも入り、今から思えば若かったからできたイベントだった気がします。

むつみ会場での開催は、萩美術館に勤務されていた職員の方の口添えで始まりました。須佐・佐々並・萩・むつみと中々生の音楽に接する機会の無い地域で、何とか文化にふれあう場を作りたいとの思いで始まった、このふれあいコンサートは、回を重ねること6回目を迎え、須佐会場以外でも周防大島町や東広島市でも開催されるようになりました。

た。これは、須佐会場のコンサートに来られた方が、わが町でも開催できないかと工夫されたものです。

無いものは作ろう・・・

とかく音楽イベントは金がかかる、施設はあるが予算がないから何もできない話はよく聞きます。



むつみコンサート実行委員会の様子

俗に言う「買い公演」は、業者に儲けがないと実施することは難しい面があります。でも、少し手法を変えれば、安価で一流の演奏家も無理ではありません。現にN響のメンバーも須佐で公演しています。あとは、地域の協力関係だと思っています。地域を元気にするために、何か考えたいものです。



タモリに負けずわが町を紹介

「ブラタモリ」ならぬ『ぶらぶらタモリ』が、わが町を紹介します。

先月号に引き続き、犬伏城を紹介します。

古い書物等がどんどん

熱くなる状況に接して

こうした犬伏山城に関係する古文書等が、当家人には代々保存されて来ましたが、世代が変わり、城山自体への関心も薄れているし、関わる古文書への関心も薄れてきています。

しかし、今に思えば大切に保存しておけばよかった、と思えてなりません。こうしたことは近隣で伺いの古老の方もご存じです。

主人が生前、城山のことや登山道のことなど日常話をしていましたが、と僥ぶお話を伺うことが出来ませんでした。

また、下三原上集落のYさんは、

実家の近くの里山が犬伏山でしたので、小さい頃からホームグラウンドのごとく遊びかたがた、何度となく登った経験があります。

特に、記憶があるのが、40数年前に近所の同級生と共に登ったことを思い出します。

その時の山は、比較的歩き安く、軽装で短時間に登れた。そして頂上には広い広場があつて、その片角に「石造りのチョウズ」

そして広場からの眺望がよくて、下界に向って大声で叫ぶと山の下の人から返答の声が聞こえた。(山彦ではない。)

また、自宅の門名が「犬伏」と呼ばれていたことから懐かしい幼少の頃のことを思い出されます。と話して頂きました。

山頂の城跡の調べと

史実の保存活用

この山城の集落は農林業が主体ですが、いずれも後継者のないことが大きな課題となっています。

山林はもとより水田や畑地までもが放棄地となり、そのうえ家屋の廃屋も見られ、荒れた集落の姿を目にするなり、悲しい思いを致すところです。

そうしたことから、城跡山話の継承すら叶わなくなつてゆく感じを受けた次第です。

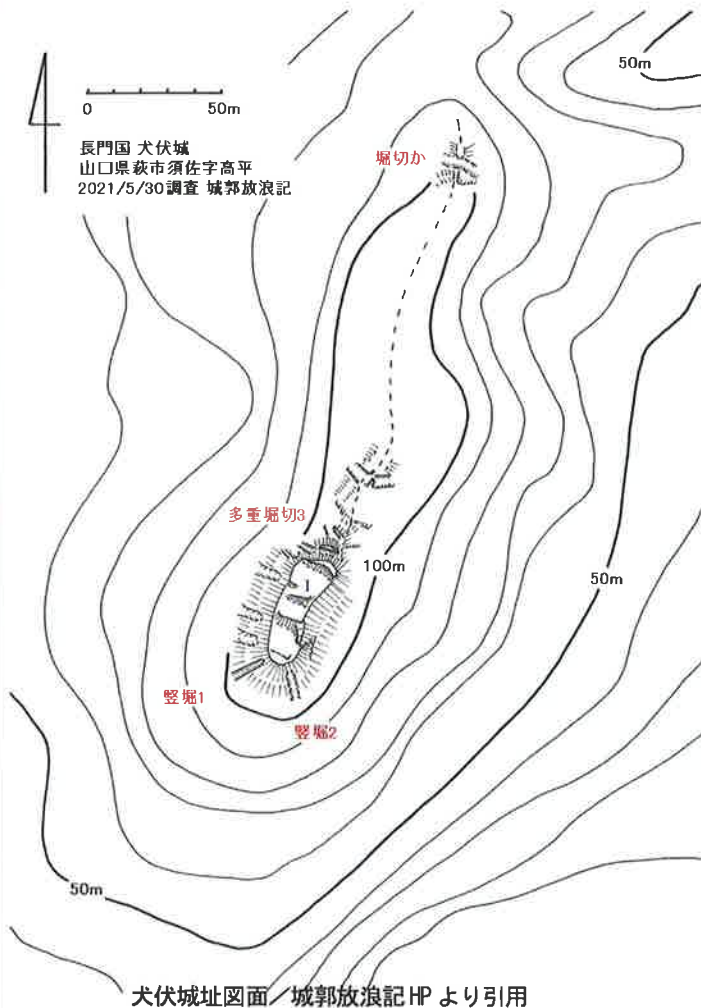
犬伏山城跡のお話を下さったお二人のHさんとYさんも「城跡」の歴史の史実を以前からもつと関心を持って「大切にしておくべき」であつた。とお話して下さったことが印象に残りました。

私も同じ地域に有りながら、この城山との関りをこれまでにもつと深くしておくべきであつたと改めて思いを致したところです。

そこで、今から可能な限りの動きをして、見て、知り得たことの記録と記憶をしっかりとどめ、広く公表して地域のこれからの資源に生かして参りたく思つた次第です。

この度の犬伏城跡登山活動にご支援ご協力下さった方々、特に貴重な体験や伝承のお話を下さいましたお二人様に本紙を借りて深くお礼を申し上げますと共に、山林所有者の皆様が無断入山をお許し頂き、次の方向に参るべく現場を後にしたところです。

いずれにせよ、資料の分散や廃棄は、郷土史を知る中でとても重要な事であることを痛感しています。



地域トピックス

龍が通った道まつり開催

伊良尾山を登山、

龍が通った道の

成り立ちを学ぶ



11月10日（日）、毎年恒例になっている「龍が通った道まつり」が豊ヶ淵交流事業実行委員会主催により開催されました。

今年は、約40万年前に噴火した標高641mの伊良尾山を登山しながら、火山活動で生じた地質等を学んでいただきました。

参加者は、市内の方から、市外は、美祢・長門市の方、また、山口県出身で東京都の方がたまたま山口新聞を見て参加をされるなど、14名の方が参加されました。

登山は、林道を約4km歩くコースで、実行委員会のスタッフがガイドをしながら、初心者でも気軽に登山でき、登山途中では、林道方面の地層を見ながらガイドによる地質の説明を行い、参加者の皆さんは、熱心



伊良尾山の地質について説明を聞く参加者

に話を聞いておられました。また、参加者の中には、子どもさんもおられ、登山中の植物や昆虫などを見て触れて、ガイドに質問するなど自然を満喫されていました。山頂では、伊良尾山の湧き水で、コーヒーを飲んでいただくとともにドローンにより、弥富から小川方面の龍が通った道の雄大な景色を参加者に見ていただきました。

また、弥富特産の十割手打そばを食べていただいた後は、弥富龍神太鼓の演奏を見ていただき、龍からの贈り物として、地元の新米・野菜や手作りのこんにゃく・柚子マーマレードなどをお土産としてお渡し、その後は、龍が通った道の見学として、豊ヶ淵、猿屋の瀧、龍鱗郷、最後に田万川の上の原台地から、登山した伊良尾山を見ていただきました。

参加者のアンケートでは、ほとんどの方が満足との回答でまつりを楽しんでいただくとともに、弥富地区の萩ジオパークをしっかりとPRすることができたと思っています。まつりに関わられたスタッフの皆さん本当にお疲れ様でした。

大きないも、ほれたよ

育英小学校

育英門跡地前の畑に、育英小学校の3、4年生の児童が5月末に植えたさつまいもが実り、10月31日（木）、いも掘り体験をしました。

今年は、大きないもが一つの株にたくさんついていて、児童たちも喜んで、夢中になって土を掘っていました。大きないもが掘れたたびに、「みてー、でっかいいもが取れたー」と担任の先生や友だちに見せていました。収穫したさつまいもは、持ち帰って、お母さんの手料理でおいしく食べられたことでしょう。

陸稲（おかぼ）栽培日記⑥



わずかな収穫量でしたが、栽培の仕方を学びました

もともと稲は水田で作りますが、今年は水が無いので学校田が作れないとの話で始まり、公民館が実験的に水が無くても作れる陸稲に初めて挑戦することとなりました。

4月から始まった陸稲作り一年を振り返ってみて、水田と違い、まずはスズメなどの鳥獣被害、それに今年の猛暑対策、それに雑草対策など一筋縄では解決できない場面が多々ありました。

結局収穫量は期待できず、子ども達と餅をつく計画までに至りませんでした。が、次年度に蒔く種だけは確保することができました。



一生懸命土を掘る児童たち



は
繁ちゃん

まちの駐在さん



Q：弥富地区で、駐在さん自身が「ここは危険だな」と思う場所があれば教えてください。
また、どんなふうに危険と思うか教えてください。

「お答えします」 弥富駐在所：繁田京祐

本年、萩警察署管内では、10月中旬に国道上において、対向車線のはみ出しによる交通死亡事故が2日連続で発生しました。

12月は、年末年始にかけて車の交通量が増えることにより、交通事故が増えることが予測されます。

この須佐、弥富地区で悲惨な交通事故を起こさないためにも、私から皆さんに弥富地区でここは危険だと思われる場所についてご紹介します。

弥富地区で車を運転する上で、皆さんにここは危ないから注意してほしいという場所は「国道315号」です。

弥富地区で発生した過去10年間の交通事故件数では、全体の4割が国道315号で交通事故が発生しており、そのうち、重傷事故も発生しています。

国道315号で発生した交通事故の特徴としては、「車両単独」「対向車線のはみ出し」、「カーブ上」によるものが多く、ぼんやり運転や速度超過等が主

な原因と考えられます。

国道等の幹線道路を運転される際は、法定速度を遵守するとともに、運転中、疲労や眠気を感じた時には、必ず休憩をとるようにしましょう。

国道315号上は、橋やトンネルが多く、特に「橋の上」や「トンネルの出入り口」は、通常の道路と比べてかなり滑りやすくなっています。

自分の運転を過信することなく、道路環境に応じた運転に努めましょう。

年末年始は、行事等で多忙な時期になるかと思いますが、交通事故やあらゆる犯罪に巻き込まれないよう、時間と気持ちにゆとりを持った行動を心がけ、明るい年末年始を過ごしましょう。



須佐大橋

あの頃の須佐は

40年前の須佐を
振り返る…「広報すさ」

このコーナーは、元気だった頃の須佐町を「広報すさ」から引用し、住民の皆さんに当時の元気な姿を届けたいと思います。

郷土料理・特産品アイデア料理 品 評 会

むらおこし・ふるさとまつりのイベントの一つである郷土料理・特産品アイデア募集に町内の個人、各団体から地元で産出される原料を使って創意工夫された力作32点が出品されました。

お寄せいただいた作品は、農業改良普及員、婦人会、栄養推進委員会、漁協、農協等から選出された審査員により審査された結果、次の方々が入選されました。（敬省略）

●特選

・「断層ずし」

・秋月美智子（までかた）

・「こんにやく」

・弥富加工グループ

●佳作

・「イワシの甘露煮」

・又座紀枝（浦中）

・「ブリのこうじ漬」

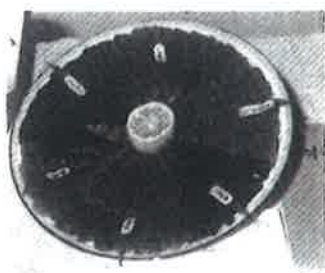
・吉田喜美子（弥富5区）

・「山菜漬けケチャップ焼肉タレ」

・弥富加工グループ

・いり大豆とブロッコリーの漬物」

・篠原光江（弥富11区）



こんにやく料理



断層ずし料理

記事は、昭和61年12月15日発行の「広報すさ」から

生涯学習作品コーナー

【俳句】

雑草の中を縁取るつわぶきの花

(山根丁東) ゆめはるか

【短歌】

雲もなく静けき秋の夜の空

朧なる月にじみていたり

(青葉台) 田村雅利



秋景色絢爛豪華に魅了され

居ながら見れるテレビに感謝

(山根丁東) ゆめはるか



主なき畑にきれいなコスモスが

今年も変わらず目を樂ませ

新米はうめこぶしやけのしおむすび

あとはたくあん2きれ

見上げるとこすもす盛り青い空

草取りやめてお茶することに

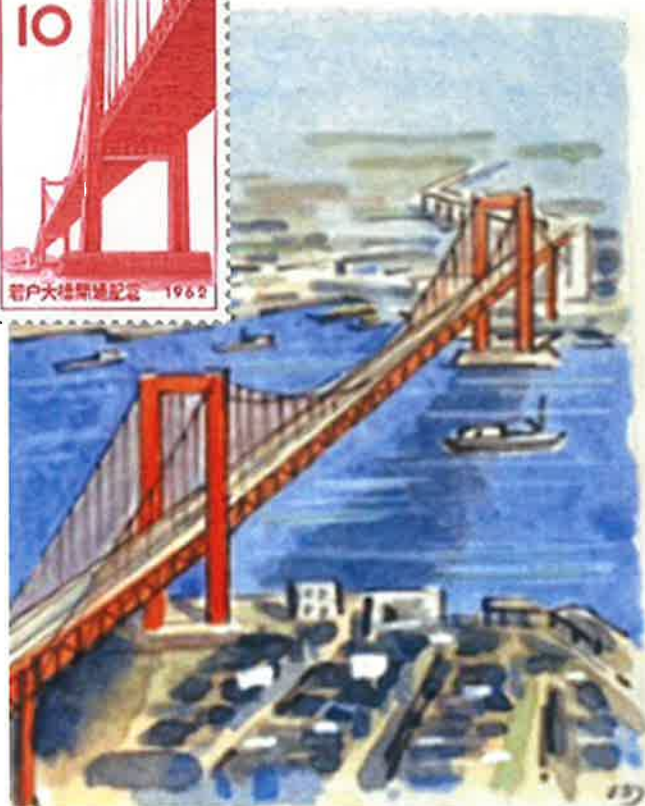


老人クラブ 美人美女会

須佐の偉人伝 大塚均

93

このコーナーでは、切手デザインの大家である大塚均(山根丁東出身)さんがデザインされた約120点の作品を随時紹介しています。切手カバー図案も合わせてお楽しみ下さい。



大塚 均 (1911-1998)

若戸大橋開通記念切手

昭和37年(1962)年9月27日、福岡県の旧若松、戸畑の両市を結ぶ若戸大橋が開通した。日本道路公団が51億円をかけて建設。全長約2.1km吊り橋を支える二つの主塔の距離が当時日本最長の367mあり、「東洋一の夢のつり橋」と称された。昭和37年9月27日10円切手が発行された。大塚均51歳時の作品です。

2024		12月 地域カレンダー				
須=須佐公民館 弥=弥富公民館 学校・保育園行事 =子ども対象行事		弥富公民館 =スポーツ関係 保セ=保健センター 弥G=弥富グラウンド				
日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
1	2 麻雀クラブ 13:00 ピンポンクラブ 13:30	3	4 ついで会 10:00 放課後子ども教室 15:30	5 	6	7 須佐保生活発表会 須佐駅前イルミネー
8 	9 スマホ相談所 9:00 エコクラブ 9:30 ピンポンクラブ 13:30	10 バッチサークル 9:30 年末年始の交通安全 県民運動(〜1/3)	11 歩こう会 8:45 色えんぴつ画 13:30 放課後子ども教室 15:30	12 スマホ相談所 9:00	13 手芸クラブ 9:30 囲碁・将棋 13:30 作品展最終日	14
15 須佐みこと マラソン大会 家庭の日	16 物作り教室 9:30 ピンポンクラブ 13:30 麻雀クラブ 13:00	17 あおば勉強室 13:00 (保セ)	18 音楽療法 13:30 放課後子ども教室 15:30	19 生き活体操 8:45	20 手芸クラブ 9:30 囲碁・将棋 13:30	21 子ども会 9:00
22	23 スマホ相談所 エコクラブ 9:30 麻雀クラブ 13:00 ピンポンクラブ 13:30	24 小・中学校終業式 	25 のびのび 「しめ飾り作り」9:00 グラウンドゴルフを 楽しむ会 9:30 ※クリスマス	26	27 ★公務納め	28 須佐特産物の市 (須佐駅)
29	30 	31 大みそか	★仕事始めは、 令和7年1月6日(月)です！ 			

伝言板



●弥富物作り教室

「こんにやくを作って
一緒に食べましょう♪」

○とき 12月16日(月)

午前9時30分から

○ところ 弥富交流促進センター

○講師 齊藤洋子(9区)

○持参物 参加費300円
エプロン、三角巾、
マスク・ゴム手袋

○申込み 12月9日(月)まで
に弥富公民館☎2044へ

●須佐のびのび教室

「お正月のしめ飾りを作ろう」

○とき 12月25日(水)

午前9時から

○ところ 須佐公民館

○講師 齊藤 精(本町下)

○持参物 材料費300円
はさみ、持ち帰り袋

○申込み 12月18日(水)まで
に須佐公民館☎2310へ

●須佐さつき学級

「みんなで楽しく書初めをしよう」

○とき 令和7年

1月9日(木)

午後1時から

○ところ 須佐公民館

○持参物 参加費300円・筆

※詳細は、
回覧チラシを
ご覧ください。

編集後記

今年もあとわずか…。

皆さんは、この一年間で何か印象に残っていることはありますか？私は、長年続いた幕末体験育英塾が今年で終わりとということ。息子達も体験し、次男は今亡き豊田盛先生と、居合の披露もさせていただきました。

特に最近思うのですが、高齢化がますます進み、これまで築いてきた活動が続かなくなったり、「もう高齢だから」という声をよく耳にすることが多くなりました。時代が進むことは避けられないけれど、後に続く若者のため、是非もう少し頑張つて欲しいと思います…。

E・O

毎月第3日曜日は「家庭の日」
今月は『15日』です
 ★家族みんなで過ごしましょう！

須佐地域の人口 (R6.10月末現在)

	世帯数	人口	前月比
須佐	934戸	1,667人	(△5人)
弥富	216戸	401人	
合計	1,150戸	2,068人	(△5人)
昨年比	世帯数△26人	人数△58人	